

平成30年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年8月10日

上場会社名 株式会社マミーマート 上場取引所 東
 コード番号 9823 URL http://www.mammymart.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岩崎 裕文
 問合せ先責任者 (役職名) 財務部長 (氏名) 岩本 潤 TEL 048 (654) 2514
 四半期報告書提出予定日 平成30年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年9月期第3四半期の連結業績（平成29年10月1日～平成30年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年9月期第3四半期	78,174	1.0	2,234	△12.6	2,550	△10.7	1,617	△15.1
29年9月期第3四半期	77,397	2.3	2,555	40.1	2,854	32.3	1,904	65.5

(注) 包括利益 30年9月期第3四半期 1,629百万円 (△18.8%) 29年9月期第3四半期 2,006百万円 (94.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年9月期第3四半期	149.85	—
29年9月期第3四半期	176.42	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年9月期第3四半期	58,579	26,472	45.2	2,450.81
29年9月期	56,011	25,059	44.7	2,320.11

(参考) 自己資本 30年9月期第3四半期 26,456百万円 29年9月期 25,045百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年9月期	—	10.00	—	10.00	20.00
30年9月期	—	10.00	—	—	—
30年9月期(予想)	—	—	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成30年9月期の連結業績予想（平成29年10月1日～平成30年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	105,000	1.9	2,980	1.4	3,330	1.5	1,850	1.1	171.37

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年9月期3Q	10,796,793株	29年9月期	10,796,793株
② 期末自己株式数	30年9月期3Q	1,885株	29年9月期	1,865株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年9月期3Q	10,794,918株	29年9月期3Q	10,795,013株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成されたものであります。実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境に改善の動きがみられるなか、緩やかな回復基調で推移する一方で、海外の政治情勢や経済の不確実性から先行きは不透明な状況が続いております。また、個人消費では、家計所得が伸び悩み景気回復の実感は乏しく、消費回復の先行きは不透明で依然として停滞感が続いております。

小売業界におきましては、将来不安による消費マインド停滞の懸念脱却には至らず、消費者の根強い節約志向、社会保険料の負担増加や人手不足を背景とした人件費の上昇、多様化する消費者のライフスタイルに対応する業態を超えた競合の出店攻勢や販売促進の熾烈化など、経営環境はますます厳しくなっております。

このような環境の中、当社グループ(当社及び連結子会社)は、「食を通して健康になる」という当社グループコンセプト「Enjoy Life!」の考えを柱と定め、「商品開発」「基礎営業力の強化」「人財の育成」の3点を重点項目とし、新しい店舗モデルへチャレンジしてまいりました。

「商品開発」では、名物商品の育成、オリジナル商品の開発、鮮度・味の向上を目的として生鮮部門の産地開拓、輸入商品・地域特産品の発掘をおこなってまいりました。特に、当社プライベートブランド「mami+ Enjoy Life!」の新規開発、リニューアルを重点的に進めてまいりました。

「基礎営業力の強化」では、時間帯別において変わるお客様のニーズに的確にお応え出来るよう、人員配置の適正化を図り、商品の鮮度管理、品切れの防止を最重要課題として、売場の完成度を高めてまいりました。

「人財の育成」では、平成29年よりスタートした「M3プロジェクト」(M3=My Mami Mart)を中心に、店舗・本部においてチーム作りを進め、従業員一人一人がより主体的に経営へ参画する活動を推進いたしました。

設備投資としましては、㈱マミーマートにおきまして、平成29年11月に八潮伊草店(埼玉県八潮市)、平成29年12月に野田山崎店(千葉県野田市)、平成30年4月に所沢青葉台店(埼玉県所沢市)、平成30年6月に足立島根店(東京都足立区)を開店しました。また、平成30年2月にテナントの入れ替えに伴う生鮮市場TOP増尾台店の改装を実施いたしました。当四半期末の店舗数は、温浴事業・葬祭事業を含め77店舗であります。

この結果、当第3四半期連結累計期間の連結営業成績は、売上高78,174百万円(前年同四半期比1.0%増)、営業利益2,234百万円(同12.6%減)、経常利益2,550百万円(同10.7%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益1,617百万円(同15.1%減)となりました。

セグメント別の営業の状況は以下のとおりです。

[スーパーマーケット事業]

当第3四半期連結累計期間は、売上高77,809百万円(前年同四半期比1.0%増)、セグメント利益2,213百万円(同13.0%減)となりました。

[その他の事業]

売上高366百万円(前年同四半期比0.8%減)、セグメント利益21百万円(同59.9%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末より2,568百万円増加し58,579百万円となりました。これは主に、新規出店用地の取得によるものであります。

負債は、前連結会計年度末より1,155百万円増加し32,106百万円となりました。これは主に、借入金の増加によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末より1,413百万円増加し26,472百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成29年11月14日に公表いたしました「平成29年9月期 決算短信」に記載の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,088	2,317
売掛金	933	1,030
商品	2,719	2,816
貯蔵品	19	12
繰延税金資産	305	305
その他	1,661	1,636
流動資産合計	7,727	8,119
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	11,034	12,639
機械装置及び運搬具(純額)	242	202
土地	20,909	22,734
リース資産(純額)	1,476	1,374
建設仮勘定	2,033	964
その他(純額)	1,480	1,566
有形固定資産合計	37,177	39,481
無形固定資産		
	140	132
投資その他の資産		
投資有価証券	328	321
長期貸付金	285	261
差入保証金	7,902	7,781
賃貸不動産(純額)	369	368
繰延税金資産	1,273	1,263
その他	805	848
投資その他の資産合計	10,965	10,845
固定資産合計	48,283	50,460
資産合計	56,011	58,579

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	10,137	10,140
短期借入金	470	60
1年内返済予定の長期借入金	3,395	4,081
リース債務	155	156
未払費用	2,809	2,672
未払法人税等	483	480
賞与引当金	438	160
その他	881	910
流動負債合計	18,771	18,662
固定負債		
長期借入金	6,969	8,283
リース債務	1,497	1,380
長期預り保証金	1,666	1,640
転貸損失引当金	93	64
役員退職慰労引当金	261	289
退職給付に係る負債	1,114	1,137
資産除去債務	568	602
その他	7	45
固定負債合計	12,179	13,444
負債合計	30,951	32,106
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,660	2,660
資本剰余金	2,861	2,861
利益剰余金	19,519	20,921
自己株式	△2	△2
株主資本合計	25,038	26,440
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	81	74
退職給付に係る調整累計額	△74	△58
その他の包括利益累計額合計	6	16
非支配株主持分	13	16
純資産合計	25,059	26,472
負債純資産合計	56,011	58,579

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年10月1日 至平成30年6月30日)
売上高	77,397	78,174
売上原価	57,031	57,262
売上総利益	20,365	20,911
営業収入	1,033	1,034
営業総利益	21,399	21,946
販売費及び一般管理費	18,843	19,711
営業利益	2,555	2,234
営業外収益		
受取利息	44	44
受取配当金	7	8
不動産賃貸料	155	197
受取手数料	149	155
その他	125	122
営業外収益合計	482	528
営業外費用		
支払利息	34	34
不動産賃貸費用	139	175
その他	10	2
営業外費用合計	183	212
経常利益	2,854	2,550
特別利益		
固定資産売却益	16	—
資産除去債務戻入益	23	—
特別利益合計	40	—
特別損失		
固定資産除却損	5	10
減損損失	—	30
特別損失合計	5	40
税金等調整前四半期純利益	2,889	2,509
法人税等	982	889
過年度法人税等	0	—
四半期純利益	1,907	1,620
非支配株主に帰属する四半期純利益	2	2
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,904	1,617

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年10月1日 至 平成29年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年10月1日 至 平成30年6月30日)
四半期純利益	1,907	1,620
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	81	△6
退職給付に係る調整額	17	16
その他の包括利益合計	98	9
四半期包括利益	2,006	1,629
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,003	1,626
非支配株主に係る四半期包括利益	2	2

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年10月1日至平成29年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント	その他 (注1)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	スーパーマ ケット事業				
売上高					
外部顧客への売上高	77,028	368	77,397	—	77,397
セグメント間の内部 売上高または振替高	—	0	0	△0	—
計	77,028	369	77,397	△0	77,397
セグメント利益	2,542	13	2,555	—	2,555

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、温浴事業と葬祭事業であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成29年10月1日至平成30年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント	その他 (注1)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	スーパーマ ケット事業				
売上高					
外部顧客への売上高	77,809	365	78,174	—	78,174
セグメント間の内部 売上高または振替高	—	0	0	△0	—
計	77,809	366	78,175	△0	78,174
セグメント利益	2,213	21	2,234	—	2,234

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、温浴事業と葬祭事業であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「スーパーマーケット事業」セグメントにおいて、賃貸借契約の終了を決定した物件について、減損損失の計上しております。当該減損損失の計上額は、30百万円であります。